

世界とつながる

交通手段やIT技術等の発達により、物理的にも心理的にも諸外国との距離が縮まってきています。これからのグローバル化に向けた本市の取り組みを紹介します。

国内における人口減少や高齢化の進行に伴い、食市場の縮小が予測される昨今。その一方で海外に目を向けると、アジアを中心とした新興国では経済成長・人口増加が進み、食市場は成長を続けています。

この現状を踏まえ、海外への販路獲得は本市の基幹産業である農林水産業を維持・発展させるための取り組みの一つとして注目されています。

本市では今年度、台湾とタイ王国で現地の輸入代理店等に対する営業活動や鹿屋の食材を使ったメニューの試食会等を実施。市内事業者が生産・加工する商品の認知度向上及び販路獲得のための取り組みを行っています。



輸出

8月中旬～下旬にかけて、タイ王国トウンソン市の市長団12人とジュニアバレーボール選手団12人が本市を訪れました。

市長団は市内企業や教育施設を視察。選手団は鹿屋市スポーツ少年団との合同練習や、来鹿していた女子プロ選手のクリニック等に参加しました。そのほかにも生け花や書道といった日本文化体験や市内観光、地域コミュニティ団体との交流を行いました。

これらの交流をきっかけに今後親交を深め、インバウンドや文化・スポーツ・教育等の各種交流への取り組み推進につなげていきます。



文スポーツ化

市教育委員会では、子どもたちの語学力向上や異文化理解を推進するため、英語教育の進む台湾の国立台北教育大学や、台湾の小学校10校と市内小学校11校との間で、交流協定を昨年12月に締結しました。

この協定に基づいた「グローバル教育推進事業」として、チャンダウバイリンガル小学校の児童たちが7月に西原小学校を訪問。学校紹介や給食、英語授業を通して交流したほか、ホームステイを行いました。来年1月には台北教育大学の教育実習生の受け入れ、2月には市内小中高校生が「鹿屋市PR大使」として台湾での体験授業やホームステイも予定しており、国際感情豊かな子どもたちを育む取り組みを実施します。



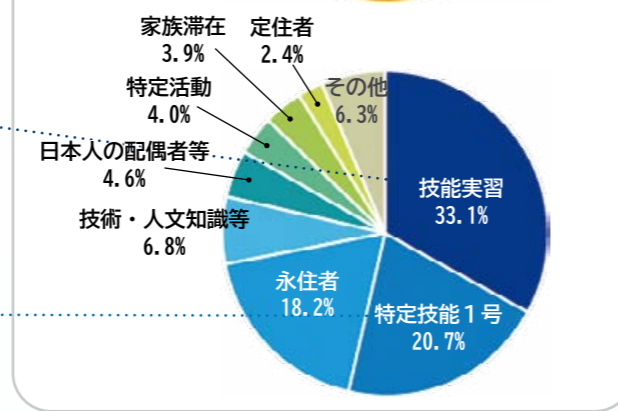
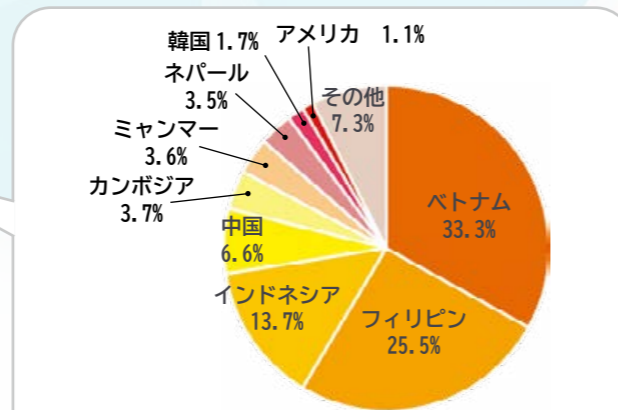
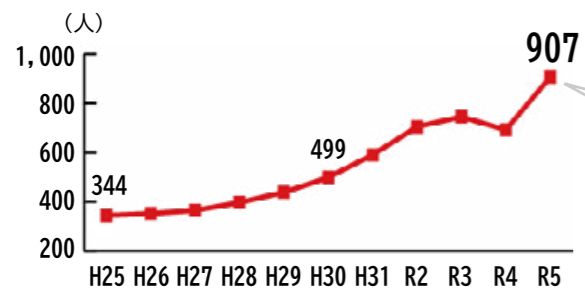
教育

本市の現状と多文化共生社会

グローバル化が進展し、国境を越え地球規模で人の移動が活発化している現代。本市の外国人登録者数も平成25年3月末が344人だったのに対し、令和5年同時期では907人と、約2.6倍に増加しています。国籍別で見ると、10年前はフィリピンが一番多く約半数を占めていたのに対し、現在はベトナムが最多。また、在留資格別では永住者数よりも技能実習・特定技能1号での在留者数の割合が過半数となっています。

こうした中、日本人と外国人が一緒に地域社会を作り上げることが求められています。大切なものは、国籍や民族などの異なる人々が互いの文化的違いを認め合い、地域社会の構成員としてともに生きていく「多文化共生」の意識。この意識を高めることで、日本人も外国人も過ごしやすいまちづくりにつながっていきます。

鹿屋市の外国人登録者数（各年3月末）と国籍別・在留資格別割合（令和5年3月末）



技能実習

日本の技能・技術・知識などを外国人が習得し、帰国して母国で活用することを目的とした制度。在留期間は最大5年で、節目節目で技能検定の受験が義務付けられている。

特定技能

国内人材を確保することが難しい産業分野において、一定の技能を持つ外国人を受け入れることができる制度。1号と2号があり、対象分野や在留期間などに違いがある。



John Dyson
ジャン・ダイソン

【趣味】旅行、キャンプ、鄙びた温泉巡り、川下り、読書、家庭菜園
【住んだことがある場所】沖縄、福岡、大阪、名古屋、札幌、ネパール、ガーナ共和国、ベリーズ、アフガニスタン、韓国



「カンザス州」ってどなたとどこ？

- ・人口約300万人
- ・州の最大の都市「ウィチタ」は人間よりも牛が多い
- ・パンケーキに例えられるほど山がなく平地
- ・夏は暑く乾燥しており、冬は寒い
- ・西部劇や「オズの魔法使い」の舞台として有名
- ・BBQやフライドチキン、パイ料理が名物

「アメリカ合衆国カンザス州から参りました、ジャン・ダイソンと申します。

米国外交官として26年間勤務していました。妻と3人の子ども、そして7人の孫と離れ、国際交流員として鹿屋市に赴任しました。

人生という旅において、出会いとは一期一会だと思います。人と話すことが好きなので、見掛た際はぜひ気軽に話しかけてください。国際交流は一人ひとりの出会いと交流から始まります。

これから全力を尽くして、国際交流員として頑張りますので、鹿屋市の皆さま、どうぞよろしくお願いたします。」

NEW!

鹿屋市国際交流員が着任しました!!

語学指導と国際交流の推進を目的とした国際交流員が8月7日に着任しました。

地域活力推進課
☎0994-31-1147